

庄原市職員との交流会を開催

12月23日(月)

昨年10月に自治体間交流に関する連携協定を締結した庄原市と職員交流を行いました。

この職員交流は、住民の交流促進や地域振興のため、連携事業の内容を検討し、両自治体の施策・事業を参考に取組を進めることが目的です。

今回は、庄原市比和町にある古民家ステイ長者屋が会場。庄原市の職員と特産品を活かした料理づくりを行いました。料理後には、協力して作った料理を食べながら交流を深めました。

今後も庄原市が主催するイベントへの参加など、住民の交流促進や地域振興に資する連携事業の内容を検討するとともに、互いの施策や事業を参考に、地域振興につながる取組を進めます。



地域食材を生かした料理にするための意見出し



次回の交流会は本町で開催予定



特産品を使い協力して料理

飯南町子ども・子育て会議を開催

11月・12月

11月と12月に「飯南町子ども・子育て会議」を開催しました。

この会議は、本町の子育て支援に関連する取組を総合的かつ計画的に推進するための「第3期飯南町子ども・子育て支援事業計画」を策定するのが目的。2回の会議で、委員の皆さんからさまざまな意見をいただき、計画の素案を作成しました。

現在、町のホームページに計画案を掲載し、パブリックコメントを実施。町民の皆さんからの意見を集約し、3月に計画を策定します。



これまでの取組や今後の課題など活発な意見交換

琴引フォレストパークスキー場安全祈願祭

12月17日(火)

本町の重要観光施設である琴引フォレストパークスキー場で、12月20日の今シーズンの営業開始に合わせて、安全祈願祭が執り行われました。指定管理者である(株)飯南トータルサポートの後藤浩二取締役は「今年は積雪が多い予想で、良い条件になるのでは。多くの方に来場いただき、楽しんでいただきたい」と期待を込めた挨拶をされました。

冬期の誘客施設として、町内外から多くの来場者を迎えるため、魅力を発信していきます。



安心して楽しめるスキー場を目指します

滞在型地域交流拠点施設を整備

12月20日(金)

県外や町外から入学する飯南高校生と地域住民の交流の場として、野萱地内に「滞在型地域交流拠点施設」を整備することとしました。

この施設は、高校生と地域住民との交流の場としてだけでなく、飯南高校の新たな魅力として、町外や県外から生徒を呼び込むことも目的。交流ホールや滞在用の部屋を完備した木造2階建てとなります。

今後、柔軟な運用に向けて、高校と協議を進め、令和8年度4月からの共用を目指します。



外観イメージ

福祉施設協議会交流研修会に出席

12月27日(金)

飯南町福祉施設協議会の交流研修会に町長が参加し、同会の事業所に勤務する外国人との意見交換を行いました。

交流会には、特定技能実習生や留学生など外国人10人が参加。「介護の専門用語を覚えている」などの困りごとや、取り組みんでいることを町長や町職員と話し合いました。

外国人労働者が町内で不便なく生活できるよう、交流会でいただいた意見を参考にしていきます。



和やかな雰囲気で見聞交換を行いました

飯南町生活応援ポイントを付与

1月20日(月)～

国の交付金を活用し、生活者支援を目的に、令和7年1月10日時点で本町に住民票を有している人に、「飯南町生活応援ポイント」を付与します。

「いーにゃんPAYの利用申込がお済の人」は、いーにゃんPAYに自動で付与します。「いーにゃんPAYの利用申込をされていない人」と「カードを配布していない未就学児」は、ポイントが付与されたプリペイドカードを配布します。

付与ポイント

1人あたり8千ポイント

付与日

利用申込済みの人：1月20日

・利用申込がまだの人とカードを配布していない未就学児：2月下旬(順次郵送)

利用期限

7月31日

期限を過ぎると利用できませんので、ご注意ください。

問合せ

産業振興課 76・22214

飯南町商工会 76・2118

町公式LINEの機能を拡充

1月20日(月)

これまで、電話または来庁して受付していた来島交流センターの予約が、町公式LINEで申請できるようになりました。また、施設内の部屋は、LINEで予約をした利用者に通知される暗証番号で開錠できるため、鍵の受け渡しをせずに施設の利用が可能で。

1月20日から予約受付を開始します(予約可能日は2月1日以降)。今後、公式LINEから申請できる施設を増やすなど、LINEを活用した機能を充実させていきます。

問合せ 来島支所 76・2393



画面下部の「オンライン申請」を押下すると、施設予約が開始します



詳細や利用方法はこちら